

ななかま

NO.579 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙
2024年10月7日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
TEL018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp



県本部が定期大会を開催

秋田県本部は10月6日、秋田市で第26回定期大会を代議員、役員ら22人が参加して開催しました。来賓として日本共産党衆議院秋田1区の鈴木さとし予定候補と秋田県労連の伊藤ひろ事務局長が出席し、連帯のあいさつをいただきました。

大会は2023年度の活動の総括、決算、会計監査報告と2024年度運動方針、財政方針、予算を全会一致で採択しました。また、佐藤博之執行委員長(上の写真)をはじめとする新役員を選出しました。

おもな討論の内容(6人)は右側に記しました。

2024年度の執行部です。よろしくお願いします。

執行委員長	佐藤博之	(農林支部)
副執行委員長	工藤有己	(個人加盟)
書記長	田中喜三男	(ダンプ分会)
書記次長	鈴木 諭	(秋田運送支部)
執行委員	高橋正彦	(ダンプ分会)
執行委員	佐藤貴好	(秋田運送支部)
会計監査	佐藤一義	(ダンプ分会)
会計監査	和田広樹	(秋田運送支部)

※執行委員の小松一利さんが退任しました。長い間お疲れさまでした。

(敬称略)

鈴木 諭(秋田運送支部)

人手不足が進行。トラックが余りトラックを売る状況がすすんでいる。運賃は、荷主の理解が進んで上がり、基本給も上がってきた。しかし、物価高等で実質賃金は下がっている。26日に支部の大会を開く。私たちの要求を会社にぶつけていきたい。

加藤文秋(ダンプ分会)

春以降、組合の使用促進現場である成瀬ダム工事に、二人が交代で1日の常用単価55,000円(税抜き)で就労してきた。また、国土省の河川工事にも2カ所就労してきた。またゼネコンの現場に入るために労災保険の加入が求められているが、そうした中、由利本荘地域の仲間が加入してきた。組合員を増やしていきたい。

佐藤博之(農林支部)

10月10日にじん肺根絶キャラバンを実施する。秋田駅前での宣伝行動に始まり、秋田労働局、秋田県知事、秋田県議会に要請する。昨年、このキャラバン行動のことが秋田さきがけに掲載され、それをみた方が組合に相談。労災の認定を受け、組合にも加入した。第8陣の裁判所への提訴は、11月14日に変わった。

今野善彦(本荘清掃分会)

小さな分会組織でも団結を確認し深めるため、会議等を通じて要求や組織の拡大のことも話し合うようにしている。

また全国環境部会に結集して、労働条件の引き上げにとりくんでいる。全国的には、パッカー車に巻き込まれての作業事故もおきており、安全第一に仕事に向き合いたい。

小茄子川 茂(末広運輸分会)

基本給の引き上げをかちとった。人手不足、物価高、荷主との運賃交渉など、下請の中小運送会社は大変になっている。組合としての立場でがんばっていききたい。

根本 直(個人加盟)

建交労誌に笹耕市として小説を連載してもらっている。どうもありがとうございます。首相が石破氏になった。自民党の中で少しは期待できるかなと思ったが、ダメだった。

風車による風力発電が秋田県内ですごい勢いで進んでいる。しかし、低周波の発生による健康被害も起きている。このほど、私も参加する「だめーじサポートの会」が山口県の長周新聞の取材を受けた。ネットで検索すると出てくるのでみてほしい。地元のさきがけは、スポンサーとのかかわりもあり、踏み込んだ報道をしてくれない。※長周新聞は「いかなる権威にも屈することのない人民の言論機関」として1955年創刊。



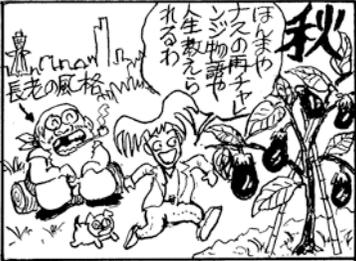
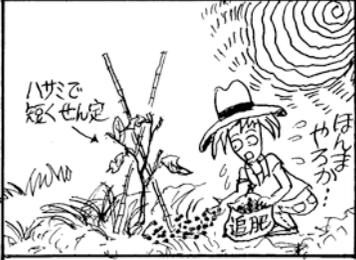
スズメの群れ



こぼれ落ちた実の中の種は、来年芽を吹き花を咲かせ、実を熟してくれるだろう。(喜)

八面六臂(はちめんろくぴ)
今年の夏も暑かった。そのせいかどうかはわからないが、ハチヤチヨウの姿をあまり見かけない。▼来年の種まきにむけて種の採取をしているが、コスモスの種があまり実っていない。地球温暖化がこんなところにも大きく影響しているのだろうか。いままで脈々と受け継がれてきた命のバトンが途切れてしまう前兆なのだろうか。▼ところでわが家ではせまい畑と鉢、プランターにハックルベリーを植えている。アフリカ原産でナス科の多年草だが、寒さに弱いのので毎年種から育てる。ナスのような白い小さな花を付け、実は熟すと濃い紺色になる。▼アクが強いので生では食べられない。鳥も見向きもしない。したがって重曹で煮てアク抜きをして、砂糖をいれてジャムを作る。▼子孫を残すために人間にジャムづくりをさせるとは、すごい。▼日曜日、連れ合いが声をかけて、近所の2組の親子をハックルベリー摘みに招待した。最初は遠慮気味に摘んでいたこともたち、コツを覚えて大満足だったようだ。こぼれ落ちた実の中の種は、来年芽を吹き花を咲かせ、実を熟してくれるだろう。(喜)

カマヤん 再チャレンジのまち ありむら潜



釜崎は「再チャレンジのまち」ナスもまた。

自衛隊創設 70 年 海外で戦争する軍隊へ

…憲法9条よりも日米同盟に縛られて…

1954年に創設されてから70年、自衛隊は「海外で戦争できる軍隊」へと変質されてきた。日本国憲法9条よりも日米同盟に縛られ続け、今や自衛隊は制度的にも米軍の指揮下に置かれようとしている。

東西冷戦下、78年に日米防衛協力のための指針(ガイドライン)が初めて策定された。80年代には、対ソ連を念頭に日米の共同訓練や共同研究など、共同作戦態勢に向け軍事協力が進んだ。日本の軍備も増強され、87年度には軍事費がGNP(国民総所得)比1%を突破した。

海外派兵へ

ソ連が崩壊した90年代以降、日本は国連平和維持活動(PKO)参加、インド洋やイラクへの出動など、海外派兵を一気に進めた。91年の湾岸戦争、01年の9・11米国同時多発テロ事件、03年の米国のイラク攻撃をきっかけに、米軍支援のために、自衛隊の海外派兵や日米同盟の強化が進められていった。

安倍政権の解釈改憲

それでも戦争放棄、戦力不保持を明記した憲法9条が歯止めになり、集団的自衛権の行使は許されず、海外での武力行使もしてはならないことだった。ところが安倍政権が14年7月、閣議決定で「集団的自衛権の行使は憲法上許される」と解釈改憲。15年には、集団的自衛権行使を可能にする安保法制が強行採決され成立した。

米軍の指揮下に

岸田政権は22年12月、違憲の敵基地攻撃能力保有を明記した「安保3文書」を閣議決定した。「防衛力の抜本的強化」のため5年間で43兆円の大軍拡や、「常設の統合司令部」の創設が盛り込まれた。24年4月の日米共同声明では「日米同盟始まって以来、最大のアップグレード」とバイデン米大統領が力説した項目が明記された。米軍・自衛隊の「指揮統制の枠組み」強化である。

「指揮統制の枠組み」強化とは、切れ目のない統合を可能にするため日米の司令部機能を強化・一体化するもの。「常設の統合司令部」はこのために創設された。自衛隊は制度的にも米軍の指揮権に入ることになる。



全国で最賃の額が決まったようですが、秋田県が全国最低である額に驚きました。最賃の意義について、私達は、もう一度立ち止まり真剣に議論する必要があると思います。

私は労働者が全国どの地域に住もうとも労働者の能力を保全、保護していくための必要な生活費に格差はないと思えます。最賃にまで格差を持ち込み労働者の団結を弱めようとする政策は許されません。今一度声を大にして全国一律最賃のたたかいを前進させる必要があります。共に頑張りましょう。

福岡県本部田川支部
原田 節生 90歳

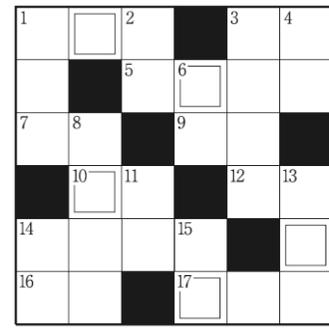
9月末自民党の総裁が決まり新しい総理が決まる。誰が新総理になろうともおられる自民党政権の本質が変わることではないだろう。憲法改正だとか？ 自民党政権にとって平和憲法はよっぽど邪悪らしい。緊迫する世界情勢の中で平和憲法は実情にあわなから変えるくだと！まずは平和憲法をバーンと正面に掲げて他国を説得する気概を持って外交交渉をやってみろ！そんな努力もせずに防衛力強化、軍備増強イコール国民の安心安全を守るのだと、そんなこと縄文時代からやっていてことごとく失敗しているだろう。平和を武力以外で実現しようとする努力もせず、「はい。憲法改正です」情けなく涙も出ない。自民党の本音は戦前の大日本帝国を再興することにあるのだろうか。安倍元



首相の大好きな教育勅語復活、神国日本の復活、お国の為に死ぬ、など、そこには庶民を思いやる一片の真心も感じ取ることができない。

個人加盟 笹 耕市 77歳

クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

- 【タテのカギ】
- ① 亜細亜 ② 次の期。——会長
 - ③ 秋に——を取り旅行 ④ 3割3分3厘3——
 - ⑥ 武田信玄の言葉と伝わる「人は——」
 - ⑧ 商業都市 ⑨ 絵描き ⑩ ——を尽くして天命を待つ
 - ⑪ 瓢箪から—— ⑫ 思惑

- 【ヨコのカギ】
- ① 支出>収入 ③ 肝臓 ⑤ 珍しい風習 ⑦ 泥棒から——を洗う
 - ⑨ 仲介の——をとる ⑩ 古代インド哲学が起源の心身訓練法 ⑫ ——と喧嘩は江戸の華
 - ⑭ 後の——先に立たず ⑯ 垂涎の——
 - ⑰ 夜が一番長い日

【前回の答え】 備蓄品 (ピチクヒン)
応募者2名、正解者2名でした。

福岡県田川支部の原田節生さんに1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めてのの方の投稿大歓迎。

応募のしめ切り⇒10月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→○○○○○…ノートとインクのおい
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。
仲間の皆さん、ふるって応募を！

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax.018-823-7751
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係